

令和 5 年 度

事業報告書

社会福祉法人洛南福社会

理事長	施設長	施設長	施設長
			

# 令和5年度 事業報告（案）

社会福祉法人 洛南福祉会  
管理職

## 【令和5年度 方針】

法人理念を念頭におき、全職員が笑顔で働ける職場環境をつくる。また全職員がご利用者の笑顔を引き出せるために思考し実行する。

物事の本質を理解し、目的及び目標をしっかりと定め、それに基づいた仕事をしていく。

## 【重点目標】

### 1. ご利用者の生活の質の向上

・認知症に関する勉強会などは各部署で取り組んでおり、認知症ケアへの意識はたかまっているが、法人として統一したものではないため、法人全体で統一した認知症研修を開催する必要がある。

・ご家族にも満足してもらえるよう、各拠点毎で SNS の発信やこまめな報告を行いご利用者の笑顔を届けることが出来ている。また、ご家族への先入観をなくし、物事を考えるように意識付けた。とは言え、一部の方に対してなので、これを更に沢山の方に行う必要がある。

・サービスの質について、一部の部署は、委員などの取り組みを受けて、自主的にマナー月間を実施するも、法人全体でサービスの質について検証と更新が必要である。また、今年度は、人材育成プロジェクトにて、委員会の目的や開催意義について明確にしてきた。そこから、表面的な結果を求めるのではなく、本質を大切にすることを指導している。

### 2. 地域に根差す

・たんぼラグビー、向島祭り、向島いきいき体操、向島健康クラブなどへ参加したが、決まった職員が参加していることが多いため、今後は全体への意識改革が必要。

・コロナ発生時には速やかに対策を講じて、拡大防止に努め、感染を最小限に収め事業を休止することなく、社会資源としての役割を果たすことができた。

・法人設立25周年事業報告会を開催し、地域の事業所に対して各拠点のサービスを理解してもらい取り組みができた。

### 3. 人材確保・育成

・人材確保については、4校の養成校とのつながりはあるものの、在校生が少なく、就職に結びつく事例が減少していることから、大学とこれまで以上に関わりをもつことで2名採用。また、新たな高校へのアプローチを行う事で、新規で3名を採用することが出来た。加えて、新たに外国人技能実習生2名（インドネシア）を採用した。

・役員の登用については、庶務に、長田を部長に任命、施設看護部には、井口を部長に任命し、岸本を副主任へ任命した。

・各部署の部署長について各事業での管理能力や事業計画達成への意識の高さについて確認し、指導しているが、職員の能力を把握し、その能力のを伸ばすための育成には至っていない。

・研修については、インターネットや本などの情報を伝えるだけでなく、現場で使うことが出来る知識を指導するよう指示している。

### 4. 経営の安定

・コロナで落ち込んだ稼働については、デイサービスを除き回復させることが出来たが、コロナ以外で人材不足が原因により赤字になっている事業については、人材の補充に重点を置き、法人内での異動も含めて対策を行った。

・令和6年4月の制度改正について、基本報酬部分は理解できているが、付随する加算関係についてさらに深く理解する必要がある。

・BCPについては、完成したものの、内容を充実させていくために、訓練・研修を通して内容の見直しを実施していく必要がある。

# 令和 5 年度 事業報告 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
特別養護老人ホーム ヴィラ向島

面会制限が緩和された事や、気軽に外出できるようになった事で、ご利用者に「今できる事」をして欲しいとの思いが一層強くなった。更に喜んで頂ける事は何かと考え、ご利用者、ご家族、職員が共に笑顔で過ごし、愛あるサービスを意識した支援の提供ができた。

## 【令和5年度の取り組みについて】

### 1, 生活の質の向上

- ・ご利用者に対する支援内容を具体化、共有する為 60 名全員の個別援助計画を作成した。更新、周知に課題は残るが、職員が担当ご利用者を中心とした支援が着実にできるようになった。
- ・個別外出の機会が増え、馴染みの場所への外出や、買い物を楽しむ事ができた。またご家族にも協力依頼し、同行してもう等気分転換していただく時間を意欲的に調整し実施した。
- ・認知症ケア向上の為、1名の職員が認知症介護実践リーダー研修受講し修了した。

### 2, 食生活の充実

- ・誕生日に合わせたお祝いでは 60 名中 55 名に食べたい物を提供する事ができた。
- ・季節や香りを感じる面前提供を行い、ご利用者に喜んでもらう事ができた。次年度は提供するだけでなく、ご利用者、職員、委託業者と一緒に作って楽しめる内容を企画し満足度をUPさせる。

### 3, 事業運営の安定

- ・BCP(自然災害・感染症)を基に上半期、下半期に1度ずつ訓練を実施。実践に基づいた内容であるか精査し、更新を行った。
- ・特養・ショートステイを合わせた70床での年間稼働率 94%を達成できた。

令和4年度		令和5年度	
平均稼働率	93.70 %	平均稼働率	94.01 %
入所 12 名	退所 12 名	入所 14 名	退所 16 名

# 令和5年度 事業報告 (案)

社会福祉法人 洛南福社会  
ヴィラ向島 ショートステイ

担当者会議や新規面談時にしっかりとご家族・ケアマネジャーより情報を聞き出し、現場職員と共有する事で、ご利用者が自宅に戻られてからも、生活に影響が出ないようにショートステイでのケア方法を考える事が出来るようになった。結果的にご利用者・ご家族の満足度に繋がり「ヴィラさんなら」と利用に繋げる事が出来た。

## 【令和5年度の取り組みについて】

### 1. 事業運営の安定

特養の空床が出た時点で事業所に具体的な曜日（空き状況）を提案し空床を埋め、ショートステイベッド数だけで年間平均稼働率は98%を達成。目標の90%を上回る稼働を達成した。

### 2. ご利用者へのサービスの質の向上

報告書を活用して返却忘れの件数を削減する取り組みを実施し、現場職員や相談員と共有して業務改善につなげた。ベッドメイク確認表を基に、居室の掃除や整備を徹底し、チェック体制を強化することで、「できていなかった」件数が大幅に減少した。

アメニティの活用や促進についても取り組んだが、多くのご家族がご自身で準備されることが多く、負担軽減のサービスとしての成果が出なかった。次年度では、アンケート調査を行い、ご家族にとって負担軽減につながるサービス内容を明確に把握し、必要に応じて内容を増やす。

### 3. ご利用者の生活の質の向上

ご利用者やご家族からの情報を収集し、在宅生活に近い環境設定を行うことで、ヴィラ向島のショートステイにご満足いただけるとの評価を得られた。サービス担当者会議や新規面接時には、本人やご家族の希望するイベントを把握し、告知や日程調整にて積極的に参加いただいた。また、日常や行事の様子を写真やビデオ通話でご家族にお伝えすることはできたが、SNSを活用した情報発信は行えなかった。来年度には、SNSを積極的に活用し、ご家族やケアマネジャーに情報を発信する。

# 令和5年度 事業報告 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
ヴィラ向島デイサービスセンター

## 【令和5年度 事業報告】

ご利用者、ご家族が笑顔で生活できるサービスを創造するため、事業所の特色である農園や美容、行事イベントを継続することができた。また、認知症についての研修を毎月行うことで職員の専門意識を高めることができた。

通所介護の本来の意味、目的を再認識し在宅生活を継続するための考え方や生活リハビリを意識し利用者個々の環境を考えた介護技術を実践できた。

## 【重点目標】

### 1. ご利用者の生活の質の向上

毎月の認知症研修を通じて、認知症状についての知識向上だけではなく利用者個々について環境、生活歴について考え知ることができた。「なぜヴィラ向島デイサービスを使うのか」を考えることで利用者のニーズを把握することができた。施設見学の機会拡充や相談しやすい関係性の構築をすることができた。

### 2. 地域に根差す

「むかいじまけんこうクラブ」「きらめき体操」「ポプラふえす」「むかいじままつり」に参加し地域住民との交流や事業所を認知していただくきっかけをつかめた。

今後は、より事業所の社会資源としての役割や地域に根差すための社会参加について積極的に取り組むことが課題である。

### 3. 事業運営の安定

感染症による事業への影響はなかった。営業については毎月最低2回実施し結果として前年度の新規獲得52名に対し、今年度の新規獲得が64名を増加した。総務との連携もあり実習生1名をアルバイトとして採用できた。

## 【稼働率について】

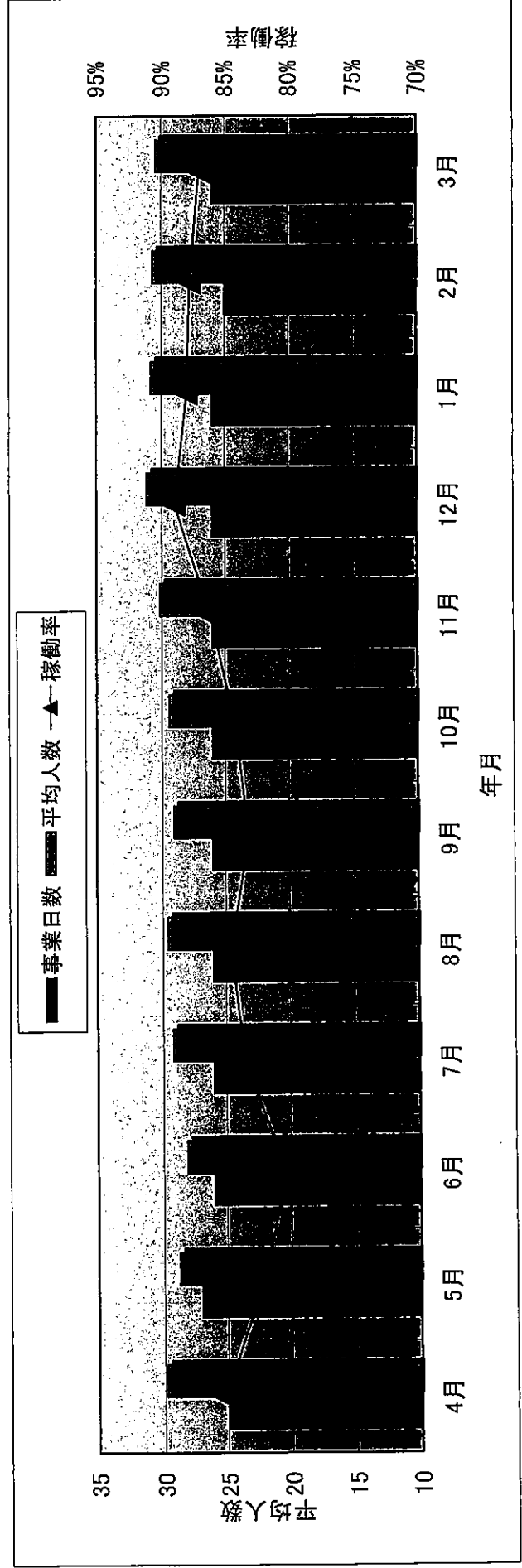
令和4年度	営業日数	313日	令和5年度	311日
	総利用合計数	9002人	〃	9262人
	平均稼働率	82.17%	〃	85.09%
	平均人数(1日当り)	28.76人	〃	29.78人

# 令和5年度サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	25	27	26	26	26	26	26	26	26	26	25	26	311	25.92
平均人数	29.84	28.78	28.12	29.23	29.62	29.12	29.46	30.15	31.15	30.808	30.72	30.46		29.78
稼働率	85.26%	82.22%	80.33%	83.52%	84.62%	83.19%	84.18%	86.15%	89.01%	88.02%	87.77%	87.03%		85.09%
合計人数	746	777	731	760	770	757	766	784	810	801	768	792	9262	771.83
令和4年度 合計人数 差	-16	-7	-64	34	8	-35	-12	12	58	234	58	-26	260	22

# 令和4年度サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	26	24	27	313	26.08
平均人数	29.31	30.15	30.58	27.92	27.63	30.46	29.92	29.69	27.85	21.808	29.58	30.30		28.76
稼働率	83.74%	86.15%	87.36%	79.78%	78.94%	87.03%	85.49%	84.84%	79.58%	62.31%	84.52%	86.56%		82.17%
合計人数	762	784	795	726	746	792	778	772	752	567	710	818	9002	750.17
令和3年度 合計人数 差	-74	0	-12	-61	66	-16	-57	-64	-110	-194	61	51	-410	-34



# 令和5年度事業報告 (案)

社会福祉法人洛南福祉会  
 ヴィラ向島居宅介護支援事業所

令和5年10月から3名体制となり、速やかに特定業所加算Ⅲの算定ができた。稼働については、3名体制になった10月から例年の2倍程の入院者があったが、新規依頼で介護22件と支援9件(4.5件)の受け入れを行い微増だが、確実に稼働をあげることができた。

居宅予防支援会議で内部点検を実施し、運営基準の順守の意識の向上が図れた。

地域のむかいじま祭りや地域ケア会議には必ず参加するとともに、地域の活動を包括、自治会の掲示板等から収集し、担当ご利用者、ご家族に伝えて行く事を積極的に行い、社会資源の活用にも努めた。様々な活動を通して、事業所の認知度の向上と地域包括ケアの推進に寄与できた。

## 【稼働状況】

	令和5年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護支援	69	69	69	65	64	66	62	67	69	72	71	73	816
(内訳)	要介護1 (件)	14	13	13	13	12	14	14	15	17	18	18	
	要介護2 (件)	34	36	35	32	32	32	28	30	27	32	33	
	要介護3 (件)	10	9	10	9	8	8	9	11	11	9	9	10
	要介護4 (件)	8	6	6	6	6	6	5	6	9	9	8	8
	要介護5 (件)	3	5	5	5	6	6	6	5	5	4	4	4
介護予防支援委託 (0.5人計算)	2	2.5	2.5	3	3	3	5	7	7	7	7.5	7	56.5
<b>総件数</b>	<b>71.0</b>	<b>71.5</b>	<b>71.5</b>	<b>68.0</b>	<b>67.0</b>	<b>69.0</b>	<b>67.0</b>	<b>74.0</b>	<b>76.0</b>	<b>79.0</b>	<b>78.5</b>	<b>80.0</b>	<b>872.5</b>
介護支援専門員数	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	
1名当たりの担当件数	35.5	35.8	35.8	34.0	33.5	34.5	22.3	24.7	25.3	26.3	26.2	26.7	
入院時情報提供加算	3	1	3	4	3	7	1	2	4	5	4	6	43
初回加算	1	2	1	0	0	3	1	4	3	8	1	5	29
特定事業所加算Ⅲ	0	0	0	0	0	0	62	67	69	72	71	73	414

## 【認定調査依頼実施状況】

	令和5年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単月合計	1	5	1	1	3	3	1	4	3	4	3	7	44

	令和4年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<b>総件数</b>	<b>66.5</b>	<b>67.0</b>	<b>69.0</b>	<b>72.0</b>	<b>74.0</b>	<b>76.0</b>	<b>75.0</b>	<b>74.0</b>	<b>72.0</b>	<b>73.5</b>	<b>71.0</b>	<b>72.0</b>	<b>862.0</b>
居宅介護支援	65	66	68	71	73	75	74	73	71	72	69	70	847
介護予防支援委託 (0.5人計算)	1.5	1	1	1	1	1	1	1	1	1.5	2	2	15
介護支援専門員数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
1名当たりの担当件数	33.3	33.5	34.5	36.0	37.0	38.0	37.5	37.0	36.0	36.8	35.5	36.0	



# 令和5年度 事業報告 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
ヘルパーステーション ヴィラ向島  
ヘルパーステーション ヴィラ観月橋

## 【令和5年度 事業報告】

ヘルパー会議にて個別援助計画を理解し個別検討を行うことで、より深くご利用者の生活について検討することができた。ケアマネジャーと連携を図り、ご利用者にとってのより良い環境とは何か？望む暮らしは何か？を常に考えながら支援することができた。

### 【重点目標】

- ① 人材の確保
  - ・今年度は例年同様の養成校と労働安定センターに授業をする機会があったが、職員を確保するまでには至らなかった。SNS に関しては月 1 回は発信することはできたが結びつくものはなかった。
  - ・今年度が新規事業も見据えたうえではあるが、正規職員が特養から 1 名の異動と新たに 2 名が入社してくれた。また、退職者が出ることもなかった。
- ② 職員の資質向上
  - ・新人職員が入職したことで、同行する機会が増え新人職員が技術等を取得するのはもちろんのこと、既存の職員も自分自身の技術や援助方法を見直すことができた。
  - ・他部署の取り組み内容を聞く機会があり、一人のご利用者に対して法人としてサービスを提供していることを実感でき、またヘルパーとしての役割も再認識することができた。
- ③ 安定した事業運営
  - ・営業に行く機会は少なかったが、日ごろの支援の仕方でもケアマネジャーより信頼を得ることができ、新規獲得や増回に繋がり前年度より稼働が上昇した。
- ④ 地域に根差す
  - ・予定していた、7 月の開設はできなかったが行政や地域の事業所からの助言や協力により、この 4 月に開設することができた。

### 【令和4年度実績】

利用者件数 向島：4,137 件  
観月橋：2,473 件  
金額 向島：18,675,412 円  
観月橋：13,748,578 円

### 【令和5年度実績】

利用者件数 向島：5,068 件  
観月橋：2,533 件  
金額 向島：23,000,570 円  
観月橋：14,367,048 円

# 令和5年度 事業報告 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
ケアハウス サウスヴィレッジ向島

## 【令和5年度 方針】

洛南福祉会の法人理念に基づき、入居者懇談会やアンケート調査を通じて入居者の声を取り入れ、多くのイベントを行えた。地域社会への参加には改善の余地がありますが、外出機会の増加など着実な成果が出た。

### 1. 自立支援と明るい生活の場の提供

日々のコミュニケーションや入居者懇談会を通じて、入居者のニーズを把握し、必要な支援を検討し実施に繋げた。アセスメントシートの更新は遅れたものの、情報の共有と記録を徹底し、支援の質を向上した。

コロナ禍で外出の機会が減少する中、外に出ようと思える行事やイベントの提案・開催を行い、入居者個々が外出することも多くなり生活に新たな活力をもたらせた。また、ご家族へのイベント情報の発信を通じて、入居者の普段の様子を届けた。

### 2. 入居者確保のための広報活動の実施

地域イベントへの参加は限られたが、ボランティアを招いてのイベントを多く行えた。紹介会社からの入居率は目標には及ばず、約6割が紹介会社からのものとなった。待機者については年間を通して最高で3名という結果となった。

### 3. 災害・感染症等に対する取り組み

入居者懇談会を通じて防災知識を高め、年に3回、入居者と共に防災訓練を実施し、災害への備えを強化できた。これにより、災害や感染症に対する意識づけ強化と入居者の安全確保に繋げることが出来た。

### 4. 職員の資質向上

常に入居者の立場で支援が行えているかを振り返り、改善と評価を行いました。また、職員間で入居者の立場に立って意見交換を行うことで、共通の理解と資質向上につなげた。

【稼働率について】

令和4年度		令和5年度	
平均稼働率	99.83%	平均稼働率	100%
平均稼働床	49.91床	平均稼働床	50床
＜実稼働率＞			
平均稼働率	91.11%	平均稼働率	95.55%
平均稼働床	45.56床	平均稼働床	47.78床

6. 入居者状況について(令和6年3月末調べ)

①年齢別・性別

在籍者50名のうち、男性20名(40%)、女性30名(60%)、昨年の3月より男性が増加した結果となった。

全体の平均年齢は83.82歳、75～89歳が全体の70%を占めている。

年齢	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～100	計	平均(歳)
男	0	2	5	5	4	2	2	20	83.30
女	0	2	5	7	9	6	1	30	83.47
計	0	4	10	12	13	8	3	50	83.82

②今年度の入退去状況(表2)

入居・退居者は共に9名。入居の内、自立の入居者が5名、要支援3名・要介護が1名と毎年自立の方が多くなっている。また、外泊(旅行)される方や入居者同士での外出も増加している。

紹介会社からの入居は5名・直接入居が4名と目標値である紹介会社からの入居率を5割には一步届かなかった。今後もどれだけ紹介会社からの入居数を減らすことができるかが課題。

表2 入退去の状況

	入居	退去	退去内訳			
			死亡	在宅復帰	他施設入所	その他
令和元年度	7	7	1	20	6	0
令和2年度	13	12	2	1	9	0
令和3年度	8	9	2	0	7	0
令和4年度	12	12	1	0	9	2
令和5年度	9	9	1	3	5	0

③介護度別状況（表3）

50名の内、自立22名で全体の44%、要支援1・2が17名で34%、要介護12名で24%となっている。昨年と比べて自立が6名増加となっている。

今回は要介護4の方がいるが、入院中の認定であり実質は要支援程度の可能性が高い。その為、前年同様に要介護2程度のレベルになると退居の流れになる傾向が続いている。

表3

介護度	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	22	5	12	6	4	1	1	0

# 令和5年度 事業報告（案）

社会福祉法人 洛南福祉会  
元源深草

法人理念を意識し、専門職としての知識、経験をもとに協働しながらご利用者・ご家族に満足して頂けるサービスを提供できた。また、喫茶や食べ物等の楽しみを提供することができた。

## 【重点目標】

### 1. ご利用者の満足度を向上させ、笑顔を引き出す

- ・満足度調査ではご利用者・ご家族から職員の態度やマナーに関して非常に良い評価を頂けた。
- ・日々の入浴剤を使った変わり湯、入浴後の週替わり喫茶やご当地スイーツなどお菓子のイベントでご利用者の声を聞きながら楽しみを提供する事ができた。
- ・サービス利用及び入浴拒否のあるご利用者に対して、ご家族の協力も得ながら定期利用、入浴対応が可能となり、ご家族・ケアマネジャーから感謝の言葉を頂けた。

### 2. 地域連携の維持・拡大

- ・年2回の運営推進会議、他施設の運営推進会議や地域ケア会議に参加する事ができた。
- ・入浴特化型半日デイとして地域での必要性は高く、年間通しての依頼があった。
- ・SNSの活用についてインスタグラムの投稿回数が年間通して少なく、元源深草を更に知って頂くことが課題である。

### 3. 人材の育成・資質向上

- ・法人内研修や日々の業務内、ミーティング時に介護基礎ランクの考え方を基に職員間で介護技術、スキルの向上を行えた。基礎ランク全員合格は次年度の課題である。
- ・併設事業所との委員会や研修・訓練に加え、今年度初めて合同事例検討会を行う事ができた。
- ・法人内の半日デイサービス間で日々の悩み等職員交流、意見交換することができた。

### 4. 事業運営の安定

- ・BCPについて研修及び訓練を行い、見直しが必要な部分も職員間で共有できた。
- ・地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携を密にする事により、各事業所へのアンケートでは一定の良い評価が頂けた。
- ・登録率に関しては、年間を通して100%以上を維持出来た。入院者があったが、臨時利用や一時的な増回等工夫ができた。

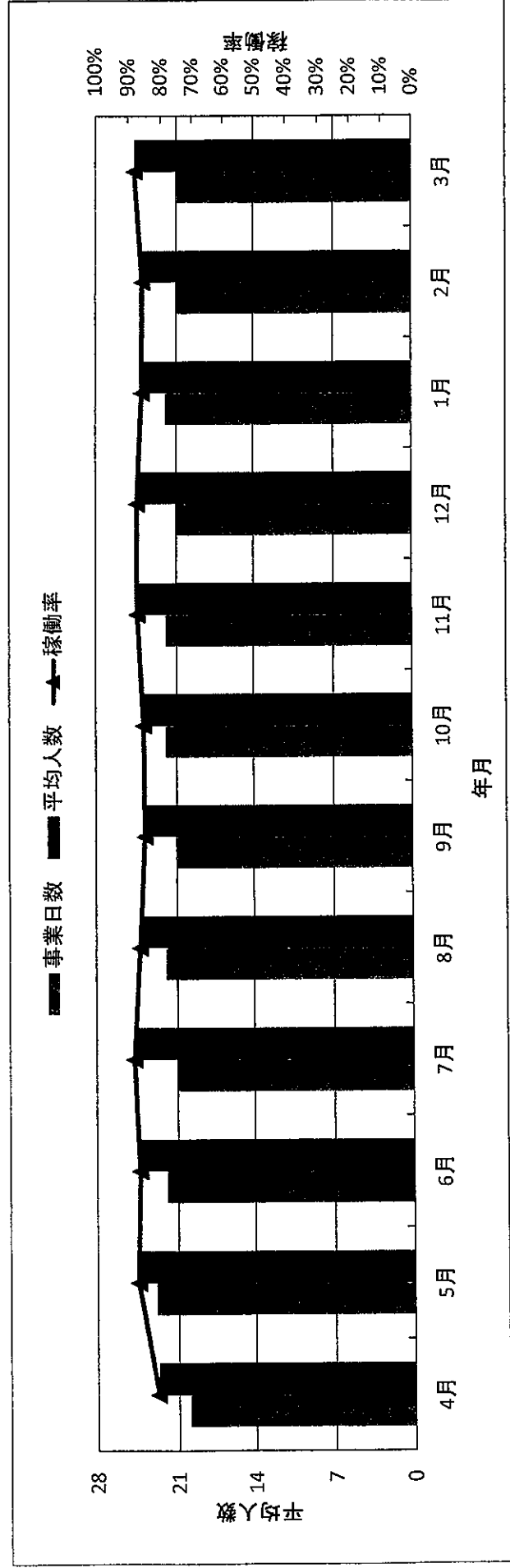
【稼働率について】	令和5年度	令和4年度
平均稼働率	86.18%	84.71%

### 令和5年度 元源深草 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	20	23	22	21	22	21	22	22	21	22	21	21	258	21.50
平均人数	22.75	24.48	24.32	24.76	24.23	23.76	23.86	24.41	24.43	24	23.95	24.62		24.14
稼働率	81.25%	87.42%	86.85%	88.44%	86.53%	84.86%	85.23%	87.18%	87.24%	85.71%	85.54%	87.93%		86.18%
合計人数	455	563	535	520	533	499	525	537	513	528	503	517	6228	519.00
4年度 合計人数差	-52	21	-5	36	-8	-19	1	-11	-16	45	55	-10	上半期 85.89%	下半期 86.47%

### 令和4年度 元源深草 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	21	22	22	21	23	22	21	22	22	22	20	23	261	21.75
平均人数	24.14	24.64	24.55	23.05	23.52	23.55	24.95	24.91	24.05	21.95	22.40	22.91		23.72
稼働率	86.22%	87.99%	87.66%	82.31%	84.01%	84.09%	89.12%	88.96%	85.88%	78.41%	80.00%	81.83%		84.71%
合計人数	507	542	540	484	541	518	524	548	529	483	448	527	6191	515.92



# 令和5年度事業報告 (案)

社会福祉法人洛南福祉会  
ケアプランセンターあかつき

稼働については、年間を通して、1人35件を達成する事が出来た。2名体制のため特定事業所加算の算定は叶わなかったが、算定に必要な会議や研修等は実施しており算定可能な体制を維持出来ている。居宅予防支援会議で内部点検を実施し、業務改善につなげ運営基準順守の意識向上が図れた。地域住民や地域の社会資源とのネットワーク構築のため、地域ケア会議への参加と地域の職能団体の役員を担い事業所の認知度向上、地域包括ケアの推進に寄与できた。併設事業所との合同事例検討会や日々のスーパービジョンを通して職員個別の資質向上が図れた。ケアプランデータ連携システムについてはサービス事業所の導入状況より、検討の必要がある。

## 【稼働状況】

	令和5年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護支援	66	65	64	66	65	64	62	64	67	64	65	67	779
(内訳)	要介護1 (件)	15	15	15	15	13	13	13	15	15	15	15	
	要介護2 (件)	30	30	30	30	31	30	30	28	30	30	33	
	要介護3 (件)	11	11	12	13	14	13	12	11	13	11	10	9
	要介護4 (件)	5	5	4	5	4	4	4	6	4	4	6	6
	要介護5 (件)	4	4	3	3	3	3	3	4	5	4	4	4
介護予防支援委託 (0.5人計算)	6	6	6	5.5	5.5	5.5	5.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	62.5
<b>総件数</b>	<b>72.0</b>	<b>71.0</b>	<b>70.0</b>	<b>71.5</b>	<b>70.5</b>	<b>69.5</b>	<b>67.5</b>	<b>68.5</b>	<b>71.5</b>	<b>68.5</b>	<b>69.5</b>	<b>71.5</b>	<b>841.5</b>
介護支援専門員数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
1名当たりの担当件数	36.0	35.5	35.0	35.8	35.3	34.8	33.8	34.3	35.8	34.3	34.8	35.8	
入院時情報提供加算	0	3	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	8
初回加算	0	0	0	0	1	0	1	3	1	1	3	0	10
特定事業所加算Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 【認定調査依頼実施状況】

	令和5年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単月合計	5	4	9	1	3	1	2	2	1	2	7	4	41

	令和5年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<b>総件数</b>	<b>92.5</b>	<b>110.0</b>	<b>109.0</b>	<b>106.5</b>	<b>95.0</b>	<b>74.5</b>	<b>73.5</b>	<b>70.0</b>	<b>71.0</b>	<b>72.0</b>	<b>71.0</b>	<b>72.0</b>	<b>1017.0</b>
居宅介護支援	99	99	98	97	89	69	68	65	66	67	66	67	950
介護予防支援委託 (0.5人計算)	11.5	11	11	9.5	6	5.5	5.5	5	5	5	5	5	85
介護支援専門員数	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	
1名当たりの担当件数	30.8	36.7	36.3	35.5	31.7	24.8	36.8	35.0	35.5	36.0	35.5	36.0	

## 令和5年度 事業報告 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
ランランルンルスマイルケア

### 【令和5年度 事業報告】

法人理念を意識し、認知症の方やそのご家族の笑顔を引き出すためのサービスを探求することを方針として事業運営を行い、ご利用者の症状改善及びご家族の介護負担軽減に繋がるサービスが提供できた。

職員一人ひとりが「認知症とは」と考えご利用者と接したことで強みを活かした個別ケアの提供ができた。

### 【重点目標】

#### 1. 認知症の進行状況に応じたケアモデルの確立

現実見当識訓練及び個別ケアを継続した結果、ご利用者自身が事業所内で行う活動の効果があつたため BPSD(不安・混乱)の予防に繋げることができ、症状を緩和するケアモデルを確立することができた。 ヴィラ向島デイサービスと連携を図り、人の自然な動きの介護技術を深めることができ、中核症状の失行に対し適切なケアを提供することができた。

#### 2. 地域に根差す

宮本ファーム様での田植え・稲刈り体験・向島まつり・毎月のきらめき体操への参加を前年度から継続できていることに加え、地域の健康サロンへの参加依頼、秀蓮小中学校との交流会など新たな地域交流が増え根差すための基盤を作ることができた。

#### 3. 事業運営の安定化

営業活動を通じて居宅介護支援事業所に認知症対応型の強み及び利用後の良い変化を伝えることができ、関係機関を増やすことができた。登録率88%と提供できる枠数を全て埋めることはできなかったが、他サービスを断られた方の受け皿としての役割を担い、認知症の進行に応じた適切なサービス提供を行うことができた。

### 【稼働率について】

令和5年度	営業日数	258日
	総利用合計数	2030人
	平均稼働率	65.56%
	平均人数(1日あたり)	7.87人



# 令和5年度 事業報告(案)

社会福祉法人洛南福祉会  
京都市向島地域包括支援センター

新型コロナウイルスが5類に移行となり、地域活動はコロナ前同様に戻り、書面開催としていた「日常生活圏域の地域ケア会議」を対面で行い、地域組織や関係機関と「認知症」をテーマに意見交換することができた。昨年、向島南学区で始めた「きらめき体操」を本年度は向島学区でも行うことができた。地域組織や地域の医療機関、サービス事業所と協働して、「むかいじままつり」や「ポップフェスタ」等を行い、地域住民に介護予防の啓発活動に取り組めた。

介護予防支援については、稼働件数が昨年度より230件増加し、介護保険の申請代行は1.2倍に増加した。居宅予防会議で内部点検を実施し、運営基準の順守の意識の向上が図れた。

## 【稼働状況】

	令和5年度												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
介護予防支援	278	278	280	282	287	291	294	288	285	284	286	288	3421	
総合事業	110	117	112	113	115	118	113	116	116	116	117	117	1380	
総件数	388	395	392	395	402	409	407	404	401	400	403	405	4801	
(内訳)	委託	59	61	57	58	56	64	66	67	66	69	67	66	756
	初回	8	18	9	14	12	18	12	6	8	6	16	15	142
	委託連携	1	0	3	4	1	8	3	2	0	2	3	2	29

	令和4年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護予防支援	271	276	277	277	271	276	272	276	271	258	266	273	3264
総合事業	107	108	105	106	109	108	110	110	111	108	111	114	1307
総件数	378	384	382	383	380	384	382	386	382	366	377	387	4571

## 【新規相談状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
総合相談実人数	57	56	63	70	53	50	58	58	43	38	44	68	658	
新規介護認定申請	39	41	25	30	26	28	32	33	35	36	27	0	352	
代行申請( )表記	(22)	(28)	(17)	(22)	(13)	(18)	(23)	(20)	(21)	(20)	(20)	(0)	(224)	
(内訳)	要支援	19	32	13	22	14	20	19	19	24	11	20	0	213
	要介護	19	7	12	8	12	7	10	10	11	25	7	0	128
	非該当	1	2	0	0	0	1	3	4	0	0	0	0	11

## 【地域ケア会議】

学区	向島	向島南	二ノ丸	二ノ丸北	藤ノ木	合計(回)
地域ケア会議(学区)	3	3	3	3	3	15
日常生活圏域	向島全学区域 2回					

# 令和5年度 事業報告（案）

社会福祉法人 洛南福祉会  
特別養護老人ホーム レーベン横大路

法人理念を具現化するために、入居者の個性を尊重し、その方の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで安心できる生活環境を作り、その人らしい生活が送れるように関わりを持つことを意識し、支援を行った。

## 【 取組内容 】

### 1. サービスの質の向上

- ・季節の外出やレクリエーションを再開したことで、ご入居者の生活意欲の向上や気分転換、社会交流の機会を増やすことができた。
- ・ご家族の面会が増え、ご入居者の日常の様子が見えることで、ケアへの要望も増え、職員との意見交換をすることができた。
- ・ご家族への情報提供は、3か月に1回の手紙やLINEを活用し発信をすることができた。

### 2. 人材の確保、育成、定着

- ・介護福祉士、社会福祉士の実習、高校生のインターンシップを5校、延べ12名の受け入れを行い、指導者としての意識が高まった。
- ・ユニットリーダーと職員が話す機会を増やしたことで、仕事についての不安や悩み、キャリアアップのイメージ等を共有し、職場での心理的安全性について考えることができた。

### 3. 稼働率の安定化

- ・特養で空床が出た際にはショートステイとして利用し、ショートステイと合算年間平均稼働率94.92%と、年度目標94%を達成できた。
- ・BCPの研修を通して、平常時から非常時に備える活動について周知することができた。

### 4. 地域の安心の拠点となる活動

- ・地域のイベントに参加し、施設への認知度を高めることができた。
- ・SNSでご入居者の日常の様子や行事等を投稿し、情報発信に繋がった。

【稼働率について】	令和5年度	令和4年度
月平均稼働率	90.80%	92.77%

# 令和 5 年度 事業報告 (案)

社会福祉法人 洛南福社会  
レーベン横大路ショートステイ

法人理念を具現化するために、ご利用者の個性を尊重し、その方の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで、暮らしの場所が変わっても安心して生活できる環境を作り、施設内でできるレクリエーションを続け、楽しみのある生活を意識できた。

## 1. サービスの質の向上

- ・行事や日中の様子を写真、動画にして SNS に投稿した事で、利用中の様子がよく分かるとの声をいただけた。
- ・外出行事の再開や、施設内で体操のレクリエーションを行い、身体を動かす機会を増やす事が出来た。
- ・ケアマネジャーへレクリエーションが豊富である事を説明し、定期利用者の利用増回や新規利用者の獲得に繋がった。
- ・個別ニーズに対応したケアが提供できるよう、入所受け入れマニュアルを作成し、空床利用する際に全ユニットで情報共有を行った。

## 2. 人材の確保、育成、定着

- ・職員との関わりを増やした事で、学びたい内容や悩みを聞き取り、助言・アドバイスがモチベーション維持に繋がった。
- ・ユニットリーダーと職員の個別面談を行い、返却忘れ減少等の業務改善に繋がった。

## 3. 運営の安定

- ・特養で空床が出た際にはケアマネジャーへ空き情報を提供し、ショートステイの利用に繋げる事が出来た。特養と合算で 94.92%と目標の 94%を達成する事ができた。
- ・BCP の研修を通して、平常時から非常時に備える活動について周知する事が出来た。

## 4. 地域の安心の拠点となる活動

- ・地域のイベントに参加し、施設への認知度を高める事ができた。

【稼働率について】	令和 5 年度	令和 4 年度
月平均稼働率	106.88%	99.03%

## 令和5年度 事業報告（案）

社会福祉法人 洛南福祉会

レーベン横大路 デイサービスセンター

「レーベン横大路に行きたい、利用が楽しみ」と思っていただけの取り組みを検討・実施できた。

### 【重点目標】

#### 1. ご利用者の「やりたいこと」「できること」を大切に

- ・自宅での活動を利用中でもできる環境を整え、ご利用者の「声」を年間通して対応することができた。事業所での取り組みを自宅に持ち帰り、ご利用者の楽しみを継続的に提供できた。

毎年恒例の作品展を年度末に開催し、ご利用者・職員ともに活動の楽しさと達成感を感じることができた。ご家族に利用中の様子を実際に見ていただく機会にもなった。

- ・法人内のデイサービス間で、ヴィラ向島の畑でさつまいも作りを通じて交流ができた。

#### 2. 地域連携の維持・拡大

- ・横大路こども園と七夕やひなまつり交流、作品展に参加することができた。
- ・法人でインスタグラムを多く投稿して評価されたことは、職員のモチベーション向上に繋がった。

#### 3. 人材定着及び人材育成

- ・毎日のミーティングで意見交換の機会を持ち、思いを共有し年間通して離職者を出すことなく営業することができた。
- ・法人の介護ランク制度基礎ランク全員合格することができた。今後は、介護福祉士資格取得者増が課題である。

#### 4. 定員枠上限までを目標に利用者獲得と運営の安定

令和5年度の登録数は次の通りである。

登録数 84名(内新規 29名) 平均要介護度:要介護 2.0(昨年度要介護度 1.9)

法人内居宅介護支援事業所 16名・法人外居宅介護支援事業所 24事業所 56名  
包括支援センター3事業所 12名

- ・年間通して入院・入所・逝去と廃止ケースが 54名(前年度 41名)と多い1年であった。上限までの登録維持が課題である。
- ・BCPを作成し、職員全員で周知し、調理訓練を実施することができた。

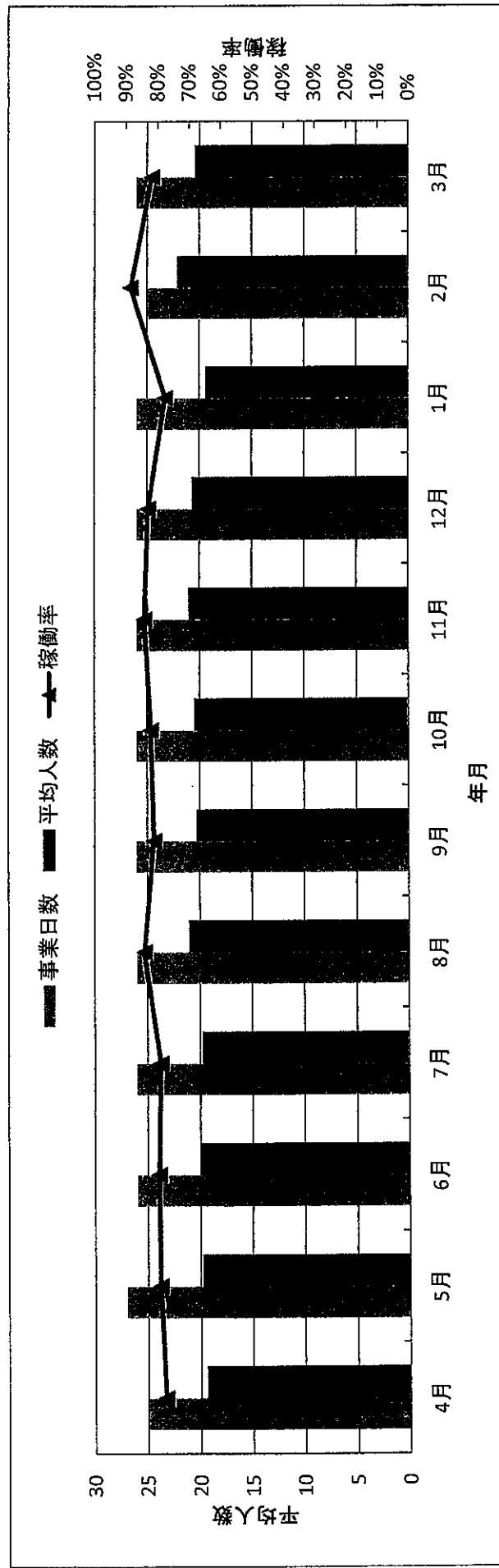
【稼働率について】	令和5年度	令和4年度
年間平均稼働率	81.47%	81.90%

### 令和5年度 しーベン横大路サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	25	27	26	26	26	26	26	26	26	26	25	26	311	25.92
平均人数	19.40	19.81	19.92	19.77	21.04	20.27	20.50	21.04	20.73	19.38	22.12	20.42		20.36
稼働率	77.60%	79.26%	79.69%	79.08%	84.15%	81.08%	82.00%	84.15%	82.92%	77.54%	88.48%	81.69%		81.47%
合計人数	485	535	518	514	547	527	533	547	539	504	553	531	6333	527.75
R4年度 合計人数差	-103	-25	-73	-52	35	4	-29	40	-17	10	104	30	上半期 80.14%	下半期 82.80%

### 令和4年度 しーベン横大路サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	26	24	27	313	26.08
平均人数	22.62	21.54	22.73	21.77	18.96	20.12	21.62	19.50	20.59	19.00	18.71	18.56		20.48
稼働率	90.46%	86.15%	90.92%	87.08%	75.85%	80.46%	86.46%	78.00%	82.37%	76.00%	74.83%	74.22%		81.90%
合計人数	588	560	591	566	512	523	562	507	556	494	449	501	6409	534.08



# 令和5年度 事業報告 (案)

社会福祉法人 洛南福社会  
元 源

ご利用者が住み慣れた地域で安心した暮らしの継続のために、各事業者ご家族に「ご利用者の変化」を丁寧に伝えることで「信頼関係」を作り、安心してご利用できる環境づくりを整えることができた。

入浴だけでなく、「ご利用者の声」を大切にした行事やイベントにも取り組むことができた。

## 【重点目標】

### 1: 職員の資質向上

- ・毎日のミーティングでご利用者の情報や気づきを全員が声に出せる環境をつくることができた。
- ・介護技術では基礎を応用してのケアの確認を行い、共有することができた。
- ・元源深草との職員交流では、イベントや業務課題について意見交換をする事ができた。今後も継続し、業務内容の見直しと更新が必要である。

### 2: ご利用者・ご家族の「声」を大切にする

- ・ご利用者満足度調査の結果や日々の関わりの中で、外出や制作への取り組みの希望も多く、レーベン横大路デイサービスの作品展への参加・見学や初詣の短時間外出に行くことができた。買い物外出の計画もあったが、未達成に終わった為、次年度は実施していきたい。

### 3: 地域連携の維持・拡大

- ・年2回の運営推進会議の参加では、久我の杜地域包括や地域の方々から生の声を聞くことができた。横大路こども園との交流では、七夕交流会への参加、絵画展への作品の展示と見学にご利用者と訪問することができた。SNSには積極的に活動内容をアピールすることができた。

### 4: 事業運営の安定

- 令和6年3月末時点の登録数は次の通りである。登録数 86名
- ・法人内居宅介護支援事業所 11名・法人外居宅介護支援事業所 24事業所 40名  
包括支援センター4事業所 35名
- ・BCPの完成、研修・訓練の実施。今後も継続して内容の理解と見直しを行っていく。

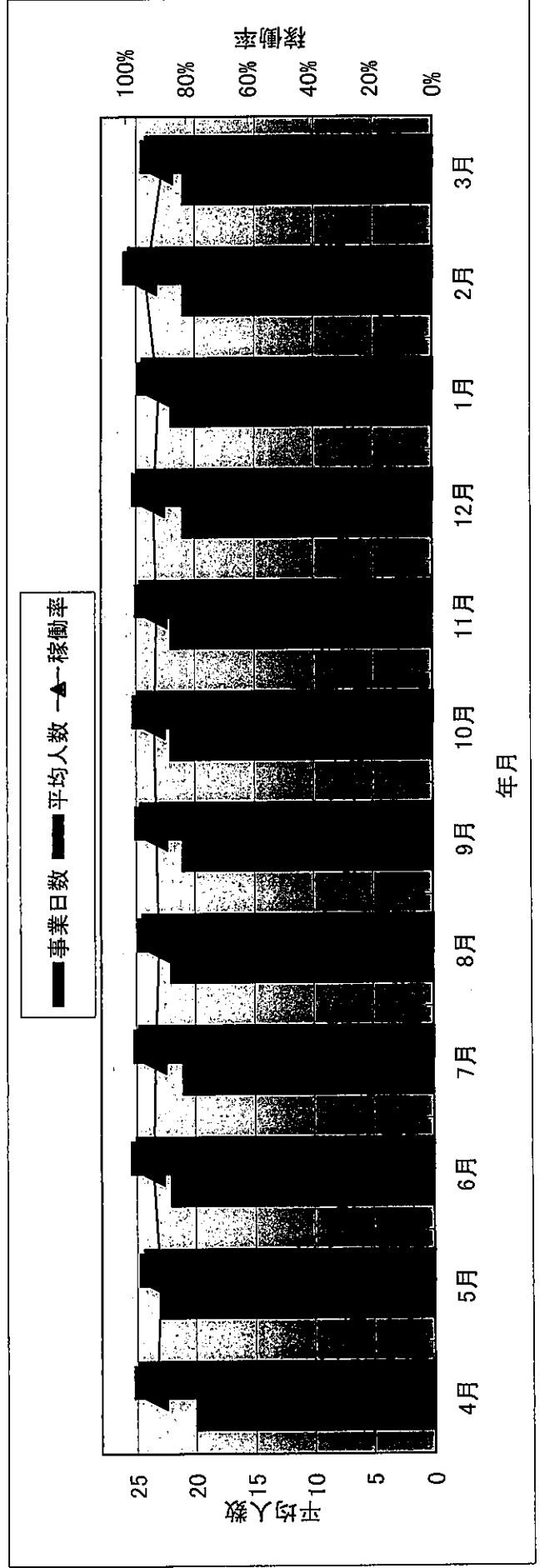
【年間稼働率について】 令和5年度 89.76% 令和4年度 91.63%

令和5年度 元源 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	20	23	22	21	22	21	22	22	21	22	21	21	258	39.69
平均人数	25.20	24.74	25.41	25.19	24.86	25.05	25.27	25.05	25.33	24.86	26.05	24.57		25.13
稼働率	90.00%	88.35%	90.75%	89.97%	88.80%	89.46%	90.26%	89.45%	90.48%	88.80%	93.03%	87.76%		89.76%
合計人数	504	569	559	529	547	526	556	551	532	547	547	516		540.25
R4年度 合計人数差	-52	-24	-29	-7	-11	-36	20	-11	-40	4	45	-71	上半期89.55% 下半期89.96%	-17.67

令和4年度 元源 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	21	22	22	21	23	22	21	22	22	22	20	23	261	40.15
平均人数	26.48	26.95	26.73	25.52	24.26	25.55	25.52	25.55	26.00	24.68	25.10	25.52		25.66
稼働率	94.56%	96.27%	95.45%	91.16%	86.65%	91.23%	91.16%	91.23%	92.86%	88.15%	89.64%	91.15%		91.63%
合計人数	556	593	588	536	558	562	536	562	572	543	502	587		557.92
R3年度 合計人数差	-20	35	14	-22	-19	-45	-38	-8	-47	0	17	-20		-12.75



# 令和5年度事業報告(案)

社会福祉法人洛南福祉会  
レーベン横大路居宅介護支援事業所

本年度は新型コロナが5類に移行し、ご利用者や地域住民の方々、専門職同士が対面で関わることができた。年間稼働状況については新規受入数は一昨年を上回り、年間目標は達成したが、下半期の減少が顕著で上半期の数値には届かなかった。要因として、ご利用者の重度化（終末期支援など）により、支援期間は短縮され、ご利用者の入れ替わりが激しかった為である。下半期は紹介先として、久我の杜や向島以外に淀包括や医療機関からの問い合わせがあった。退院延期や直接施設入所等で稼働しない事例も多く、実績に繋がりにくかったが、関係構築が重要である為に対応した。年度途中から“ケアプランデータ連携システム”を取り入れた。今後、他法人の導入が拡大することで効果が大きくなり、業務効率化が進むと思われる。内部では居宅・予防支援会議を中心に適正運営や制度改正に取り組むことができた。

	令和5年度稼働状況												平均	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
居宅介護支援	130	131	134	137	131	130	130	128	131	131	125	124	130.2	
(内訳)	要介護1(件)	34	37	39	39	36	37	39	36	38	37	36	37	
	要介護2(件)	57	60	59	60	57	57	55	57	56	54	55	56	
	要介護3(件)	25	20	20	23	22	21	20	21	21	24	22	19	
	要介護4(件)	9	9	12	12	12	12	13	11	13	13	8	7	
	要介護5(件)	5	5	4	3	4	3	3	3	3	3	4	5	
介護予防支援委託 (0.5人計算)	11.0	11.5	10.5	10.0	10.0	10.0	9.5	10.0	10.5	9.5	9.0	8.5	10.0	
総件数	141.0	142.5	144.5	147.0	141.0	140.0	139.5	138.0	141.5	140.5	134.0	132.5	140.2	
介護支援専門員数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
1名当たりの担当件数	35.3	35.6	36.1	36.8	35.3	35.0	34.9	34.5	35.4	35.1	33.5	33.1		
、院時情報提供加算	5	1	5	0	1	5	5	0	5	6	2	7		
初回加算	6.0	4.0	4.0	9.0	0.5	2.0	3.0	2.0	6.0	5.5	1.0	3.0		
特定事業所加算Ⅱ	130	131	134	137	131	130	130	128	131	131	125	124		

【認定調査実施状況】	令和5年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単月合計	5	2	7	3	5	5	4	7	5	6	5	4	58

	令和4年度稼働状況												平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総件数	143.5	144.0	141.0	142.0	142.0	144.5	139.0	143.5	144.0	138.0	134.0	137.0	141.0
居宅介護支援	133	134	130	131	131	133	128	131	132	127	123	126	129.9
介護予防支援委託 (0.5人計算)	10.5	10.0	11.0	11.0	11.0	11.5	11.0	12.5	12.0	11.0	11.0	11.0	11.1
介護支援専門員数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
1名当たりの担当件数	35.9	36.0	35.3	35.5	35.5	36.1	34.8	35.9	36.0	34.5	33.5	34.3	